

効果事例その3

C社

1. 2004年3月、KEMSステップ2規格に基づく環境マネジメントシステムの構築・運用を開始し、2004年6月にKEMSの審査に合格し登録。
以降現在まで環境改善活動に継続して取組み下記のとおり成果を挙げている。
2. 2004年3月～2005年2月
初年度は、事務所の省エネ、省資源、廃棄物削減、グリーン購入・調達に取組み、成果を挙げた。
省エネ：電力使用量17%削減（前年比）、省資源：新規購入用紙18%削減（前年比）、
廃棄物削減：一般廃棄物39%削減（期初比）
3. 2005年5月～現在
2年目以降は、環境影響の大きい本来業務である環境配慮設計を推進し、下記のとおり建築物使用時の環境負荷の低減に貢献している。

緑地率10%以上の建築：12件（JOB）

環境に配慮した材料（自然材料・再生品、ノンフロン・代替フロン等）の使用率向上
：26件（JOB）

空調負荷を10%以上削減：6件（JOB）、15%以上削減：6件（JOB）

断熱材の仕様を基準値+5mm：8件（JOB）

自然資源（採光、通風、自然水等）の利用率向上：10件（JOB）

耐久性・循環を考慮した設計（SN鋼材・高品質コンクリート、ユニット化等）
：10件（JOB）

地域環境に配慮した設計（浸透性舗装及び会所、雨水の貯留等）：12件（JOB）

CASBEE評価による環境性能効率（BEE）=1.0以上：18件（JOB）（注1）

CASBEE評価による環境性能効率（BEE）=1.2以上：10件（JOB）

CASBEE評価による環境性能効率（BEE）=3.9以上：10件（JOB）

CASBEE評価による環境性能効率（BEE）=3.2以上：4件（JOB）

CASBEE評価による環境性能効率（BEE）=3.4以上：4件（JOB）

省エネルギー法ポイント=100以上：6件（JOB）、120以上：6件（JOB）（注2）

LEDを使用した居室の率5%以上：17件（JOB）

自然エネルギーの変換利用（太陽光発電、風力発電等）：12件（JOB）

（注1） $BEE = Q$ （環境品質・性能）/ L （環境負荷）

（注2）ポイント：建築物の熱損失、空調設備・照明設備・給湯設備等の評価項目ごとの点数を加えた評価点